

沖縄陸上競技協会として、「競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を、日本スポーツ協会、日本陸上競技連盟が示している方針に準じ作成しました。今後、競技会が開催される場合、参加チーム・選手・審判員・観戦者・関係者の皆様には、「競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」の遵守のご協力をお願いいたします。

皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン

競技会開催における基本的な感染対策

- 3密回避の励行（密閉・密集・密接）
 - 1) フィジカルディスタンス確保の徹底
 - ・受付時、競技待機中は他の競技者とのフィジカルディスタンスを確保すること。
 - ・各学校、チームの控所では十分なフィジカルディスタンスを確保しすること。
 - 2) 選手付き添いについて
 - ・原則として付き添いは行わない。
 - ・ウォーミングアップについても個別で行うことがのぞましい。ウォーミングアップ場の密集、密接を避ける。（雨天練習場の使用は原則禁止し、必要な場合は主催者より連絡する）
 - ・招集については競技者本人が行うことを原則とする。
 - 3) 招集の手順
 - ・招集所にて出場種目の招集完了時刻までに、招集者係のチェックを受ける。
→ 各競技開始場所で最終コールを受ける。
 - ・招集所待機は行わない。
 - 4) 競技会前後のミーティングなどで3密にならないよう注意し、短時間で終了すること。
- 清潔な環境
 - ・こまめな手洗い、手指の消毒の実施
 - ・ゴミのかたづけ後なども、こまめに手洗い、手指の消毒を行う。
 - ・多くの人が頻繁に触れる箇所を清潔に保つこと。
- マスク着用について
 - ・個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とする。
 - ・3密回避できない場面ではマスク着用を推奨する。
 - ・夏場の運動やマスクを着用して運動を行う場合、熱中症を引き起こす恐れもあるため、熱中症予防の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨する。
- 競技会に関わるすべての人（選手・監督・審判・顧問など大会に関わる者）への基本的な注意事項
 - ・①3密の回避 ②手指消毒の徹底 ③日々の体調管理
 - ・大会前・大会後は「体調管理チェックシート」を記録し各自で体調管理に努めること。各自で保管し提出はしない。

- ・団体・チーム代表者は、大会参加者の体調について把握しておくこと。
- ・発熱・咳嗽等の症状がある場合は参加・観戦の自粛して下さい。

※新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中および快復後十分な時間を経過していない場合は競技会へ参加しない、また競技会場において観戦しないで下さい。

- その他

- ・声を出しての応援については制限しない。
- ・競技会の入場制限については、主催者において適切に判断する。
- ・大会主催者は競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任も負わない。